

開催に向けた感染防止策チェックリスト(主催者①)

全般的な事項

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所(大会会場の受付場所等)に掲示すること
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた書面について、保存期間(少なくとも1ヶ月以上)を定めて保存しておくこと
- 大会後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておくこと(事務局)

山梨県 U15 バasketボール連盟主催大会参加時(募集時)の対応

当連盟が参加者に求める感染拡大防止のための措置としては、以下のものが挙げられます。

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること(大会当日に書面で確認を行う)
 - 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際には原則マスクを着用すること)
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、大会役員等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること
- 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 大会(試合)終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、各チームは主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

当日の参加受付時の対応

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- 受付窓口には、体温計を準備し、入場者の検温を行うこと
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること
(状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる)
- 受付を行う大会役員には、マスクを着用させること
- 当日の受付等では、混雑を極力避けること
- 参加者から以下の事項を記載した、健康チェックシートの提出を求めること
(会場受付で、事前に配布した健康チェックシートを提出)
 - 氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号)※個人情報の取扱いに十分注意する
 - 参加当日の体温
 - 参加前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱(おおむね37度5分以上)
 - 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
 - その他、気になること

開催に向けた感染防止策チェックリスト(主催者②)

大会参加者への対応

□マスク等の準備

- 参加者がマスクを準備しているか確認すること
- 参加の受付, 着替え, 表彰式等の運動・スポーツを行っていない間については, マスクの着用を求めること(ただし, 人との距離が十分にとられ, 屋外のような換気が十分に行われている環境下において, 大声での会話や咳などがなければ, 熱中症予防などのためにマスクをしないことは, 健康上の個人の判断として否定されるものではない)

□大会参加前後の留意事項

- 大会(試合)の前後のミーティング等においても, 三つの密を避けること
- 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること

主催者が準備すべき事項の対応

□手洗い場所

- 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること
- 手洗いに関するポスター等の掲示をすること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を必要に応じて用意すること(参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること)
- 手洗いが難しい場合は, アルコール等の手指消毒剤を用意すること

□更衣室, 休憩・待機スペース

- 広さにはゆとりを持たせ, 他の参加者と密になることを避けること
- ゆとりを持たせることが難しい場合は, 一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
- 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ, ロッカーの取手, テーブル, イス等)については, こまめに消毒すること
- 換気扇を常に回す, 換気用の小窓をあける等, 換気に配慮すること
- スタッフが使用する際は, 入退室の前後に手洗いをすること

□洗面所

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ, 水洗トイレのレバー等)については, こまめに消毒すること
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
- 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること
- 手洗いに関するポスター等の掲示をすること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を用意すること(参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること)

□飲食物の提供時

- 参加者が飲食物を手にする前に, 手洗い, 手指消毒を行うよう声を掛けること
- 役員・選手とも, 飲食場所は広さにはゆとりを持たせ, 他の者と密になることを避けること
- 大会中の飲食は必要最低限にとどめ, 指定場所以外で行わず, 周囲の人となるべく距離を取って対面を避け, 会話は控えめにすること
- 選手の飲食は, 参加校の責任において喫食させるとともに, ゴミはすべて持ち帰らせること

□観客の管理

- 原則として無観客で開催する。

□大会会場

- 大会を室内で実施する場合には, 換気の悪い密閉空間とならないよう, 十分な換気を行うこと
- 換気設備を適切に運転すること
- 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと

□ゴミの廃棄

- 鼻水, 唾液などが付いたごみは, ビニール袋に入れて密閉して縛り, ゴミを回収する人は, マスクや手袋を着用すること
- マスクや手袋を脱いだ後は, 必ず石鹸と流水で手を洗い, 手指消毒すること

開催に向けた感染防止策チェックリスト(参加者)

参加者が遵守すべき事項(守るべきこと)

- 日常からマスクや手洗いうがいといった基本的な対策を遵守して生活すること
- 3密(密閉・密集・密接)な場所, 不特定多数の人が集まる場所, 長時間マスクを外した会食など, 感染する危険性の高い場所や感染者が多数出ている地域への移動を控え, 感染しない・広めない生活をする
- 以下のことに当てはまる参加者は, 参加ができません
 - 体調がよくない場合 (例:発熱・せきなどの症状がある場合)
 - 濃厚接触の疑いがあるときや家族や身近な知人に感染がうたがわれる者がいる場合
 - 過去 14 日以内に政府から入国制限, 入国後の観察期間を必要とされている国, 地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
 - 健康チェックシートの提出がない場合
- 会場へ入場する際は、受付窓口にて手指消毒と検温を行うこと(37.5℃以上の場合に入場できない)
- マスクを持参すること(参加受付時や着替え時等の運動・スポーツを行っていない際や会話をする際には原則マスクを着用すること)
- こまめな手洗い, アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者, 大会役員等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること
- 大会中に大きな声で会話, 応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守, 主催者の指示に従うこと
- 大会(試合)終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は, 主催者や各チーム等に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

参加者が運動・スポーツを行う際の留意点

- 十分な距離の確保
 - 競技をしていない時間も含め, 感染予防の観点から, 周囲の人となるべく距離を空けること
- こまめな手洗いうがい, 消毒を行うこと
 - 会場到着時, 練習後, 試合前, 試合後, 会場出発時など, 手洗いうがいをこまめに実施すること。飲食をする際には手指の消毒を行うなど特に気をつけること。
- タオルの共有はしないこと
- 飲食については, 指定場所以外で行わず, 周囲の人となるべく距離を取って対面を避け, 会話は控えめにする
- ボトルを他の選手と共有しないこと

開催に向けた感染防止策チェックリスト(チーム・指導者①)

事前準備

- チーム内において責任者(感染対策責任者)を定め、所属協会・連盟担当者の連絡先を把握する。
- 活動する上での注意事項に関わる全ての方と共有し理解してもらう。(不安がある場合は参加を見送る)
- チーム内の選手・スタッフの健康チェックシートを入手し、活動日まで健康チェックを行う(活動日 2 週間前までの検温と行動記録の確認を推奨します)
- 選手が未成年の場合は、保護者が活動内容を理解しており、参加を了承している。(了承しない場合は無理に参加させない。)

往復の移動

- マスクを着用する。
- 往復の交通公共機関利用時にはラッシュ時や混んでいる車両を避ける。
- 窓を開ける等、換気がよくなる工夫をする。
- 切符を買うために使う指を限定し、その際に使用した指で顔や目を触らない。
- 電車・バス等公共の交通機関内において、常に他者と距離をとり、会話も控える。
- 目的地に到着後、特につり革、手すりなどを触った手を洗い、消毒、うがいをする。
- 寄り道をせずに、できるだけ早く帰宅する。

試合前

- 選手・指導者・スタッフはプレー時以外にマスクを着用する。
- 選手・指導者・スタッフは健康チェックシートをチームの感染対策責任者に提出する。
会場の更衣室が使用可能の場合
- 着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。
- 更衣室が狭い場合の更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。更衣終了後は更衣室の窓とドアを開けっ放しにする。
- 握手やハイタッチ等は行わない。
- 円陣は行わない。
- ミーティングの回数・時間を減らす、もしくは行わない。

試合中①

試合関係者のコミュニケーション、給水等

- 指導者・スタッフ、ベンチに座る選手はマスクを着用する。
- プレー以外の不要な接触を避ける(得点後の喜び、交代時の握手等)。
- コート上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。
- ベンチでの選手間の距離を保つ。
- 交代の選手は、アップ時の他の選手との距離にも注意を払う。
- 水・氷を溜めたクーラーボックスにボトルを漬けない。
- ボトルを他の選手と共有しない。
- タオル等、リネン、ピブス等を他の選手と共有しない。
- 屋内コートではコート用シューズのみの使用とする(屋外用シューズでコートに入らない)。
- テーブルオフィシャルを担当する者はマスクを着用する。

開催に向けた感染防止策チェックリスト(チーム・指導者②)

試合中②

ハーフタイム・交代・退場時・試合終了時の対応

- 更衣室に戻る前に消毒や手洗い、うがいをする。
- 選手交代後においても消毒や手洗い、うがいをする。
- 退席や退場の際等、審判員と会話をすることがあったとしてもその距離には十分に配慮する。
- 怪我をした選手を他の選手がむやみに接触しない。また、コート外に当該選手を移動させる際は、おんぶやだっこを避け、担架を活用する。仮に、おんぶ等をして当該選手を移動させた場合、移動に関わった人は速やかに消毒を行う。
- メディカルスタッフはラテックスグローブを活用する。
- 試合後のチーム、審判員との挨拶、相手チームベンチへの挨拶は行わない。

試合後

- 更衣室が狭い場合の更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。更衣終了後は更衣室の窓とドアを開けっ放しにする。
- 着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。
- 試合会場のルールに従い、ゴミを密封した状態で処分するか、持ち返る。

帰宅後の過ごし方

- 手洗いうがいを徹底する。
- バランスの良い食事をとる。
- 検温と共にチームまたは学校等で使用している行動記録を書く。
- 早めに就寝し、十分な睡眠時間を確保する。

事後対応

- チームの中から感染者が出た場合は、責任者(感染対策責任者)に速やかにその旨伝える。